

現茂原市総合計画の評価について

令和2年2月

現茂原市総合計画の評価について 目次

1. 総括.....	1
2. 統計数値で見た茂原市の変化.....	2
(1) 住民基本台帳人口.....	2
(2) 産業分類別 15 歳以上人口.....	2
(3) 農家数及び経営耕地面積.....	3
(4) 従業者 4 人以上の工業事業所数及び製造品出荷額等.....	3
(5) 従業者 1 人当たり製造品出荷額等.....	4
(6) 従業者 1 人当たり製造業粗付加価値額.....	4
(7) 商業事業所数及び年間商品販売額.....	5
(8) 土地利用の状況.....	5
(9) 財政力指数.....	6
3. アンケート結果から見た市民意識の変化.....	7
(1) 茂原市の住みごころ.....	7
(2) 将来の定住意向.....	7
(3) 茂原市に「もっと力を注いでもらいたい」と思うもの.....	8
(4) もっと充実して欲しいと思う施設・サービス.....	8
(5) 施策ごとの市民満足度.....	9
4. 第 1 次～第 6 次 3 か年実施計画 (H13～H30) の執行状況.....	13
5. 茂原市総合計画後期基本計画の施策評価結果.....	14

1. 総括

茂原市総合計画に掲げる将来都市像「ゆたかなくらしをはぐくむ『自立拠点都市』もばら ～人・自然・文化の「共生」と「共創」をめざして～」を実現するため、これまで様々な取り組みを進めてきました。計画期間を残り1年余り残した現時点における総合計画の評価を次のとおりまとめました。

基本構想					
前期基本計画			後期基本計画		
第1次実施計画	第2次実施計画	第3次実施計画	第4次実施計画	第5次実施計画	第6次実施計画
平成13年度		平成23年度		令和2年度	

第1次から第6次3か年実施計画の中途（平成30年度）までにおいて、計画額1,043億9,432万2千円に対し、決算額は1,021億2,866万7千円であり、執行率97.8%と着実に事業を実施してきました。

(⇒4. 第1次～第6次3か年実施計画（H13～H30）の執行状況) また、基本計画に掲載されている事業計画220項目について、担当課による評価を実施したところ、130項目（59.1%）で達成度8割以上という結果になりました。**(⇒5. 茂原市総合計画後期基本計画の施策評価結果)**

総合計画策定時とその後における統計数値の比較からは、茂原市を取り巻く社会・経済状況の変化に伴って、人口や産業構造の変遷を見ることができます。**(⇒2. 統計数値で見た茂原市の変化)**

一方、総合計画策定時（平成11年）、後期基本計画策定時（平成20年）、そして今回（令和元年）実施した市民意識調査の結果比較からは、計画策定前より引き続き、多数の市民から住みよいまちであると認識されている一方で、保健医療や河川整備に関する取り組みはまだ不十分であると感じていること、また、かつての商店街の賑わいや、多くの雇用を生んだ大企業の立地を念頭に多くの市民は市の現状に対して不満を抱いていることが読み取れます。**(⇒3. アンケート結果から見た市民意識の変化)**

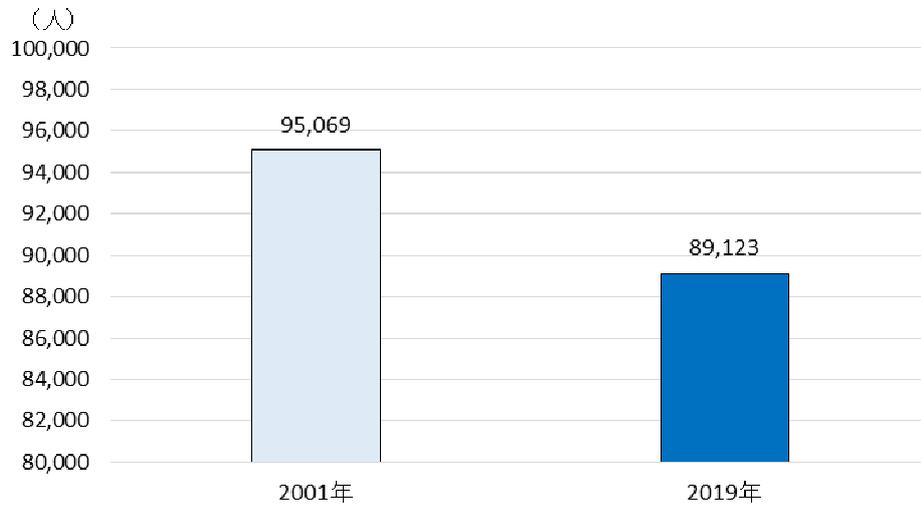
総合計画に基づく取り組みによって、茂原市は地域の中心都市としての役割を維持し、行財政基盤の強化など一定の成果を上げてきましたが、長期に及ぶ日本経済の停滞や社会状況の変化といった要因もあり、都市機能の充実を求める市民要望の全てに対して応えることはできませんでした。

今後、更に人口減少や、これに伴う財政の悪化が見込まれる一方で、頻発する自然災害の対策を始めとする安全安心に関した市民ニーズがこれまで以上に高まることは明らかです。災害時における「公助」の限界と「自助」「共助」の重要性が認識されておりますが、現総合計画における、市民と行政、企業等が役割分担の下でまちづくりにあたる「共生」と「共創」の考え方はこれに通じるものがあり、次期総合計画においても引き続き取り組んでいく必要があります。

2. 統計数値で見た茂原市の変化

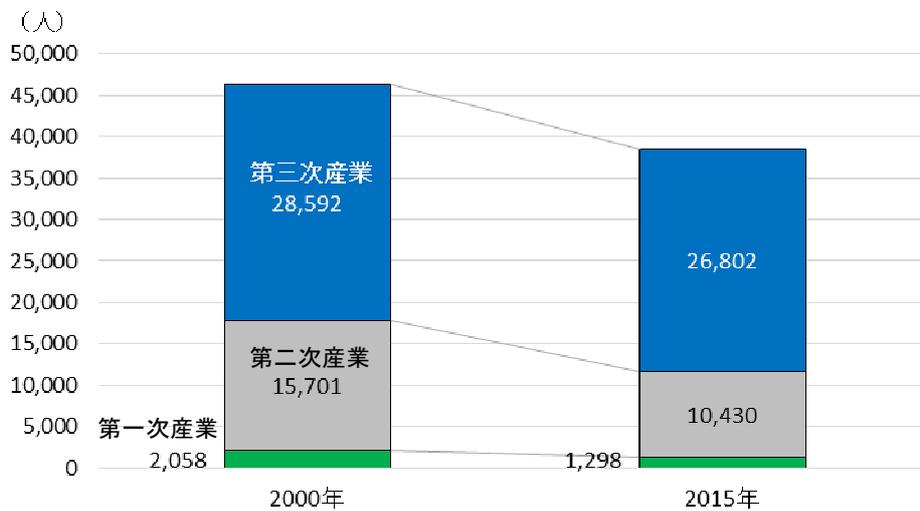
(1) 住民基本台帳人口

人口は平成 14 年（2002 年）をピークに減少に転じています。



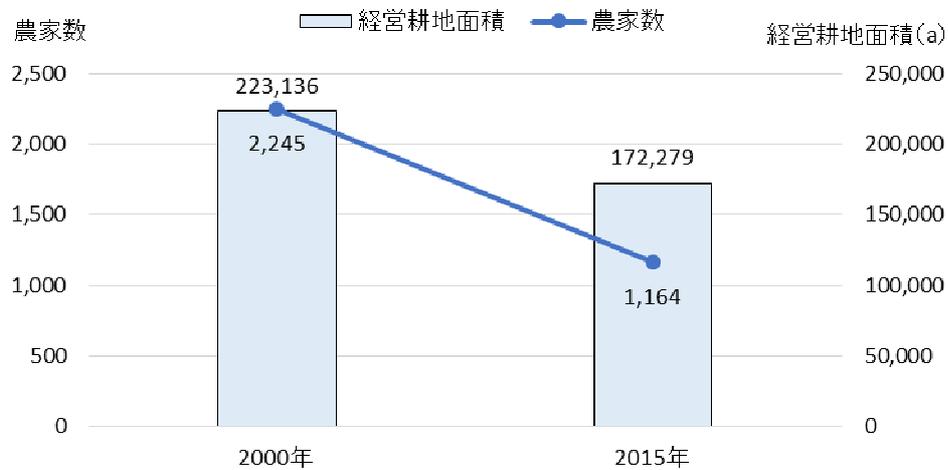
(2) 産業分類別 15 歳以上人口

人口の減少に伴い、産業分類別人口も減少しています。第一次産業、第二次産業に比べて第三次産業の減少幅は小さくなっています。



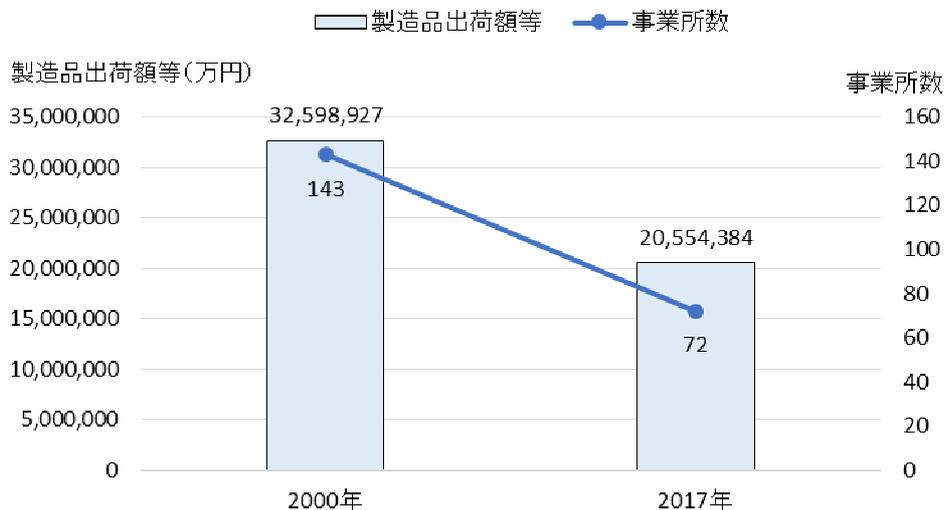
(3) 農家数及び経営耕地面積

農家数、経営耕地面積は共に減少していますが、農家1戸当たりの耕地面積を算出すると、2000年99.4aに対し、2015年148.0aであり、経営規模は拡大していることが分かります。



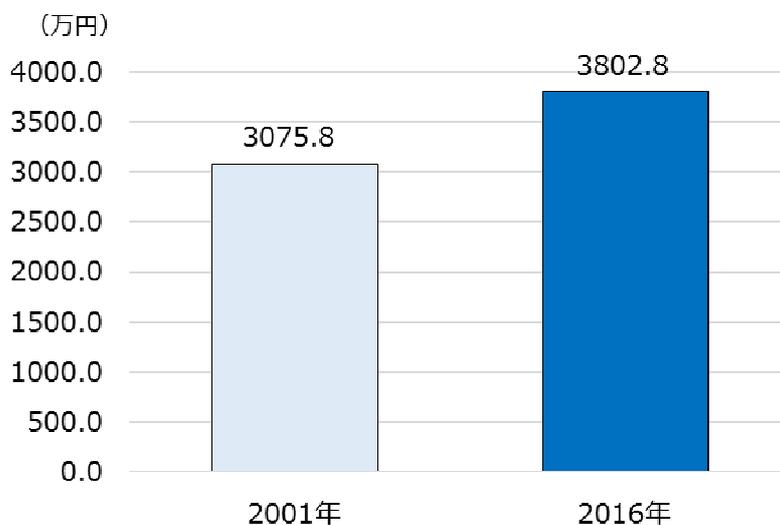
(4) 従業者4人以上の工業事業所数及び製造品出荷額等

2000年当時存在した日立製作所茂原工場は日立ディスプレイズ、IPSアルファテクノロジー等を経てジャパンディスプレイへと変わり、東芝コンポーネンツは2012年に解散した一方で、2005年に沢井製薬が進出するなど、市内の工業は大きく変わりました。事業所数、製造品出荷額等ともに大幅に減少しています。



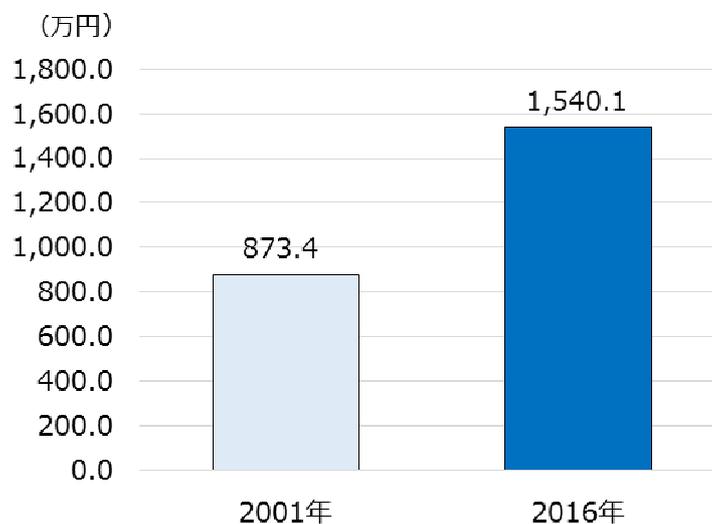
(5) 従業者1人当たり製造品出荷額等

1年間における製造品出荷額、加工賃収入額、その他収入額及び製造工程で出た廃物の出荷額合計を従業者数で除した数値は増加しており、製造業の集積度が高まっていることが分かります。



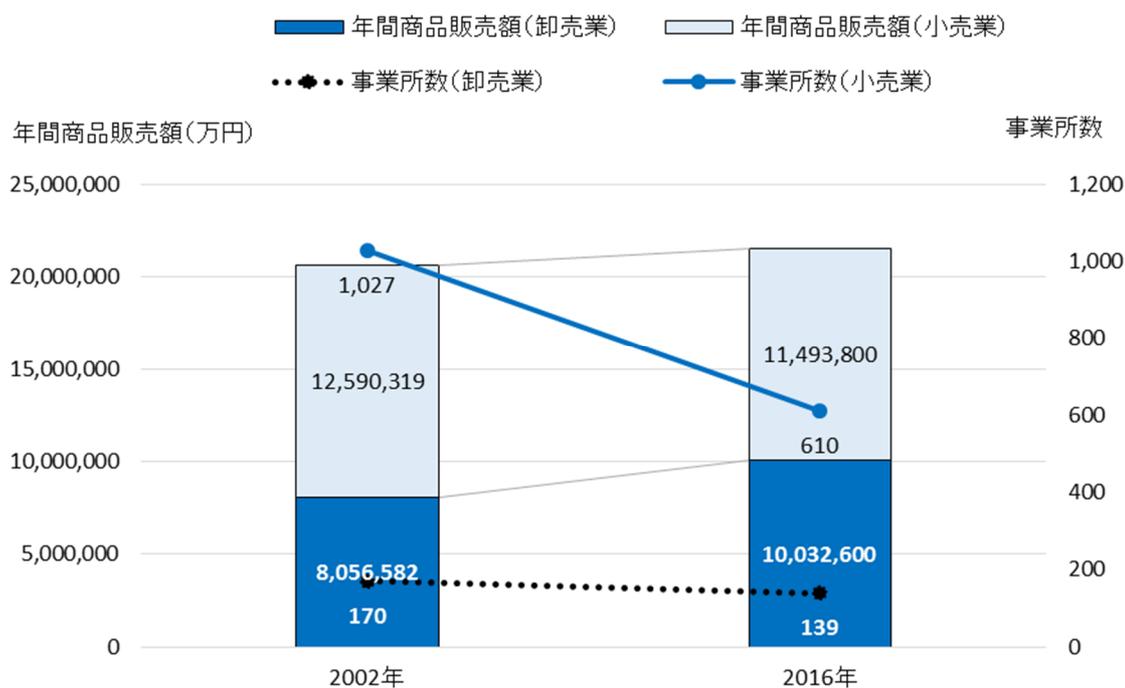
(6) 従業者1人当たり製造業粗付加価値額

事業所の生産活動において新たに付け加えられた価値の金額を従業者数で除した数値が増加しており、生産性が向上していることが分かります。



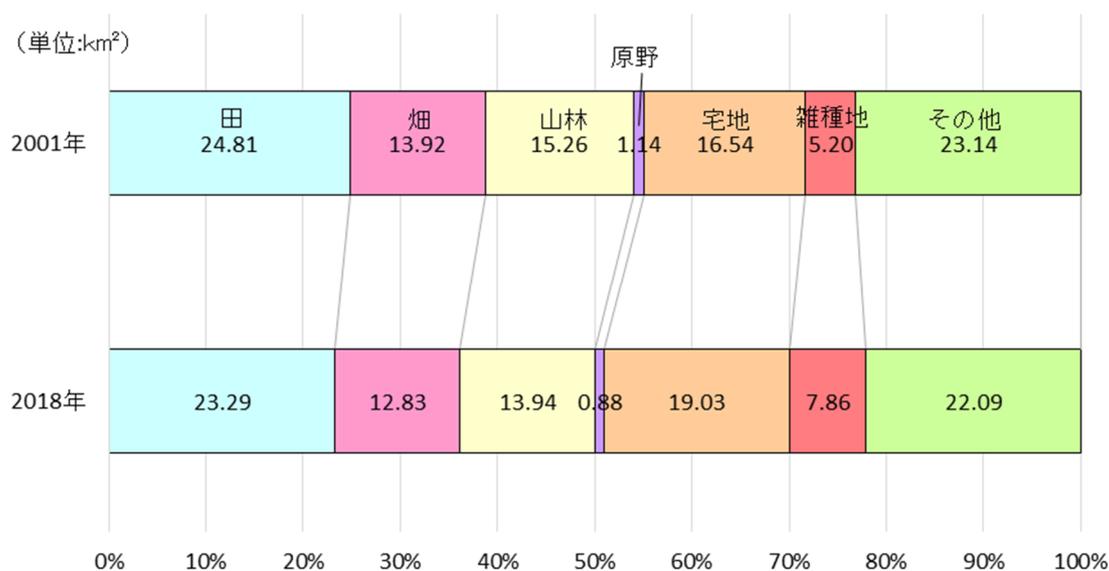
(7) 商業事業所数及び年間商品販売額

卸売業、小売業を合わせた年間商品販売額は増加していますが、小売業の事業所数は極端に減少しており、商店街が衰退傾向であることが分かります。



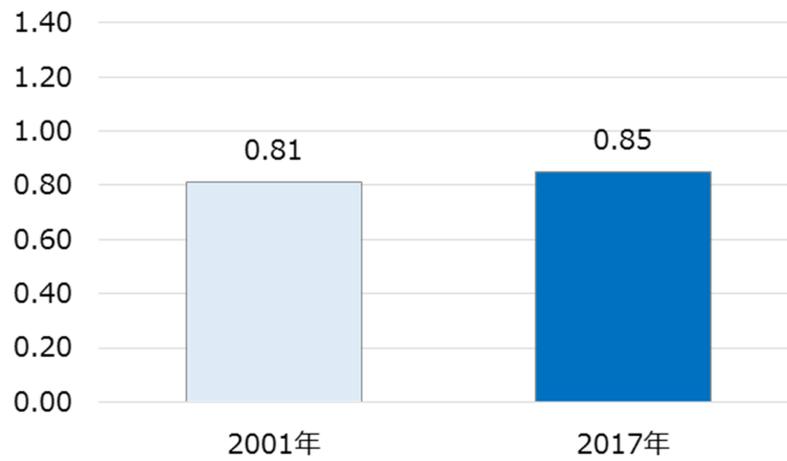
(8) 土地利用の状況

田、畑、山林、原野が占める割合は5%ほど減少し、宅地の割合が増加しましたが、未だ市域の半分に里山や田園が残っています。



(9) 財政力指数

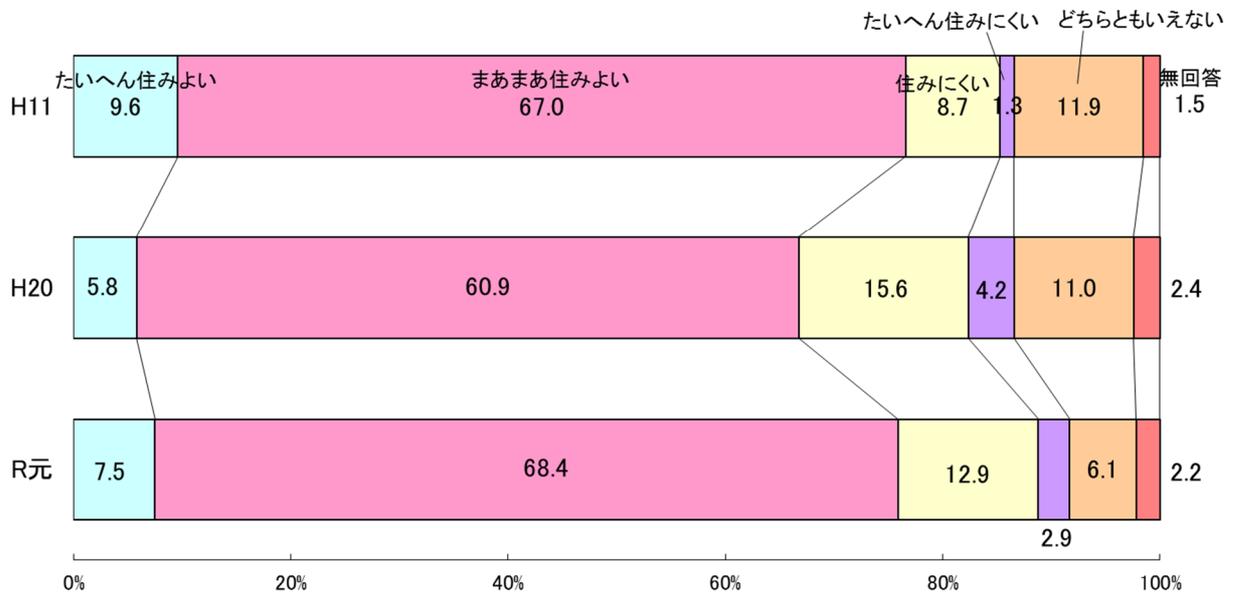
地方公共団体の財政の豊かさを示す指標で、自治体を運営するのに必要な経費に対して、市民税など自前の収入がどれくらいあるかを示します。この数値が高いほど財政に余裕があるとされ、1を超えると国から地方交付税が交付されない「不交付団体」と呼ばれます。



3. アンケート結果から見た市民意識の変化

(1) 茂原市の住みごち（平成11年・令和元年の結果比較）

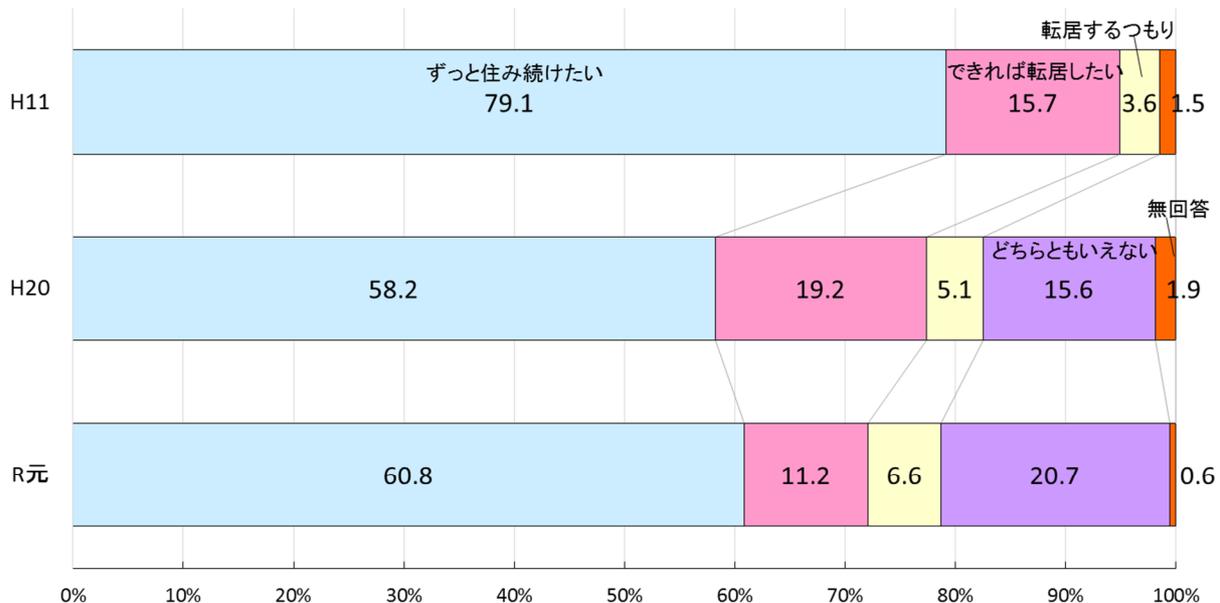
平成11年の調査では肯定的な意見が76.6%、否定的な意見が10.0%だったのに対し、令和元年の調査では75.9%、否定的な意見が15.8%となっています。若干否定的な意見が増加したものの、回答者のうち4分の3の方が、茂原市は住みごちが良いと感じています。



※令和元年度調査では、回答選択肢「どちらともいえない」を「わからない」に変更しています。

(2) 将来の定住意向（平成11年・令和元年の結果比較）

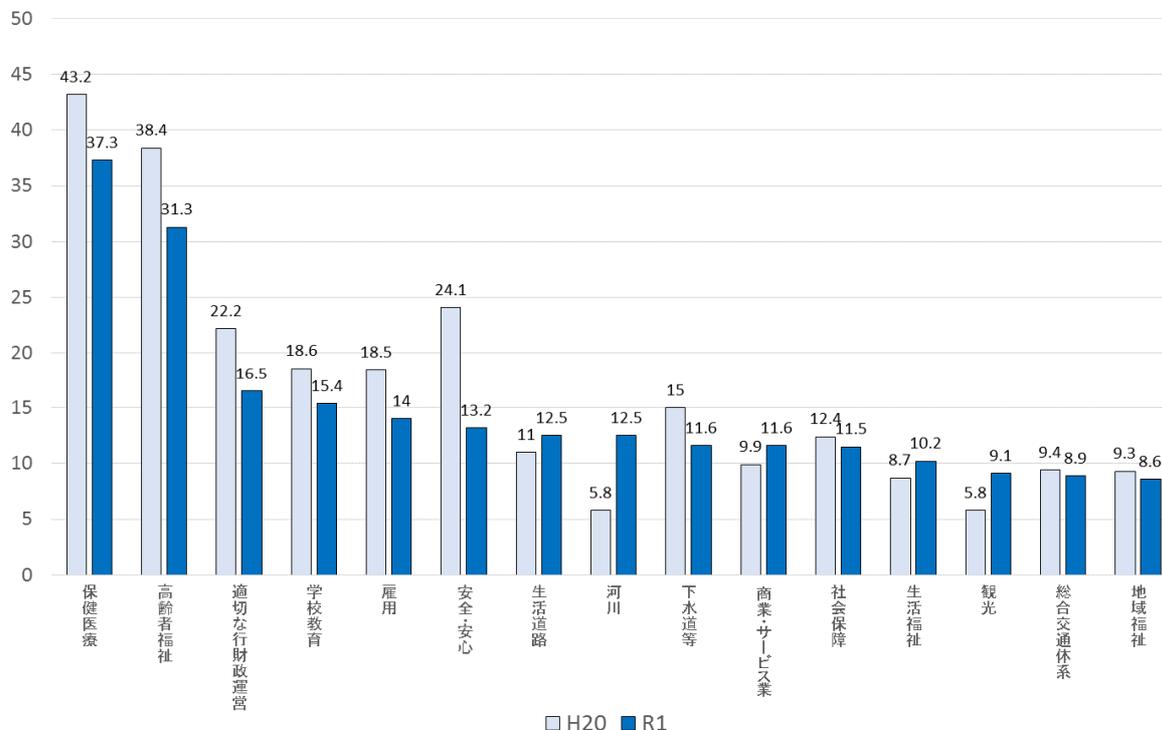
平成11年の調査では「住み続けたい」が79.1%だったのに対し、令和元年の調査では60.8%と20%程度減少しています。なお、平成11年、20年の回答選択肢「転居したい（するつもり）」は、市内転居と市外転出を含めた回答になる恐れがあるため、今回から表現を変更しています。



※令和元年度調査では、回答選択肢「できれば転居したい」を「今後市外に転居するかもしれない」に、「転居するつもり」を「市外に転居したい」に、「どちらともいえない」を「わからない」に変更しています。

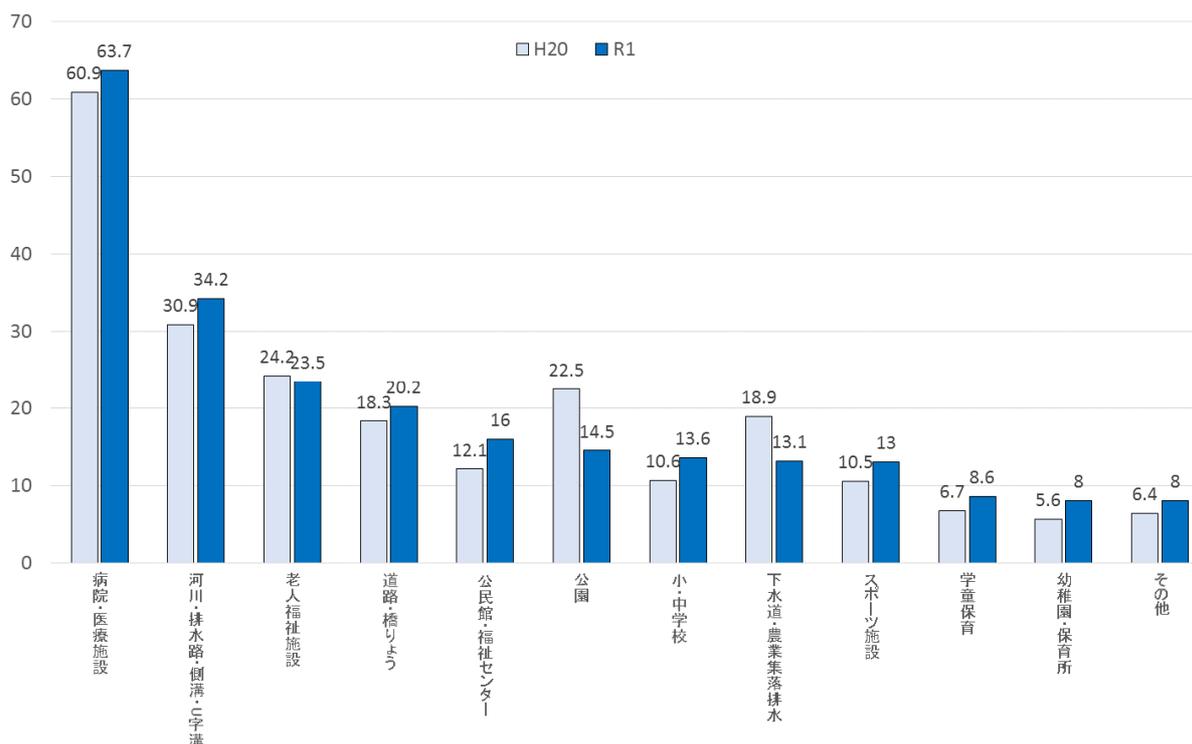
(3) 茂原市に「もっと力を注いでもらいたい」と思うもの（平成20年・令和元年の結果比較）

平成20年、令和元年ともに、多かった回答の順番は、①「保健医療」、②「高齢者福祉」で、3番目は平成20年が「安全・安心」なのに対して、令和元年は「適切な行財政運営」でした。



(4) もっと充実して欲しいと思う施設・サービス（平成20年・令和元年の結果比較）

平成20年、令和元年ともに、多かった回答の順番は、①「病院・医療施設」、②「河川・排水路・側溝・U字溝」、③「老人福祉施設」でした。



(5) 施策ごとの市民満足度（平成20年・令和元年の結果比較）

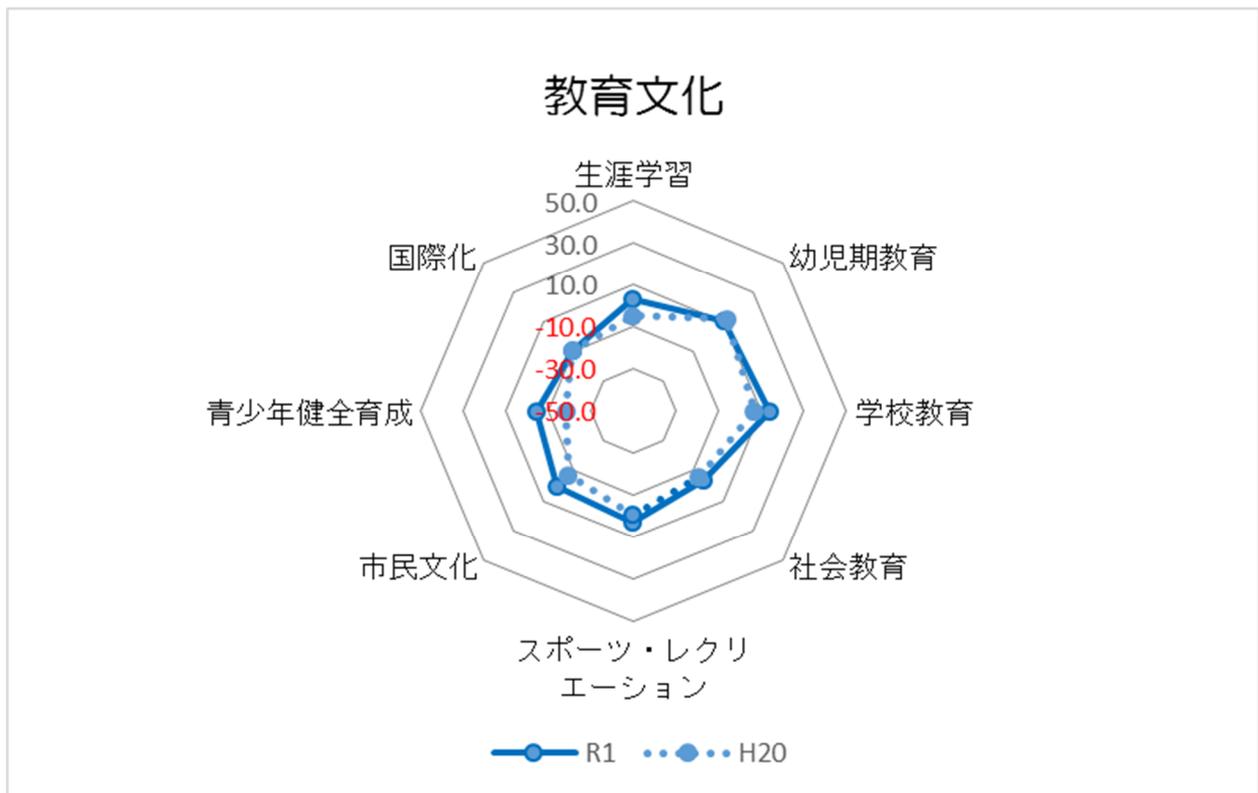
市民意識調査において、基本計画に掲載されている施策に対する満足度を「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」「わからない」の5つの選択肢から選んで回答いただきました。このうち、「満足」「やや満足」の回答割合から「やや不満」「不満」の回答割合を引いた値を比較しました。なお、平成11年の調査では満足度に関する設問がありませんでした。

グラフの数値（%・小数点以下第一位まで）
 = （「満足」「やや満足」と答えた人の割合）－（「やや不満」「不満」と答えた人の割合）

数値がプラスであれば、施策に満足している市民が不満を持つ市民より多いことを示しており、グラフ上では外側に広がるほど、その分野の満足度が高いことを示しています。

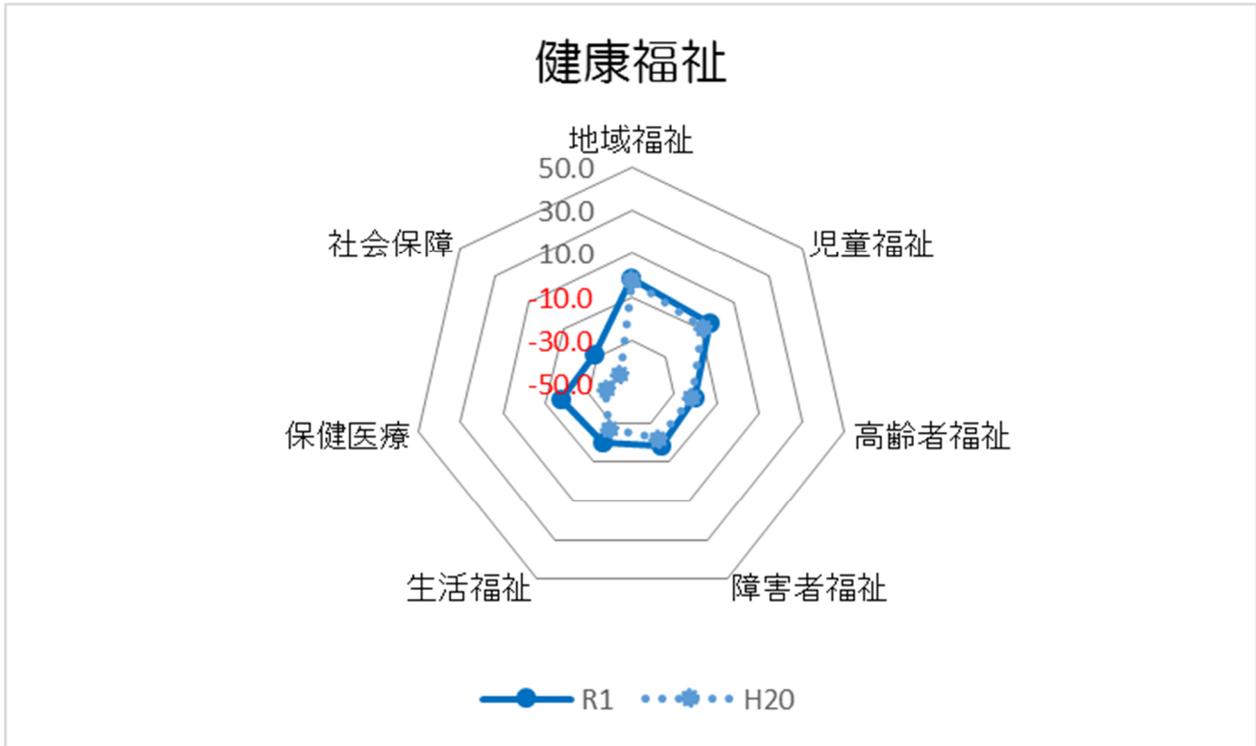
教育文化

幼児期教育、学校教育の数値が大きい一方、国際化の数値は小さくなっています。全体として平成20年より令和元年の方がグラフの面積が大きく、満足度が上がっていると考えられます。



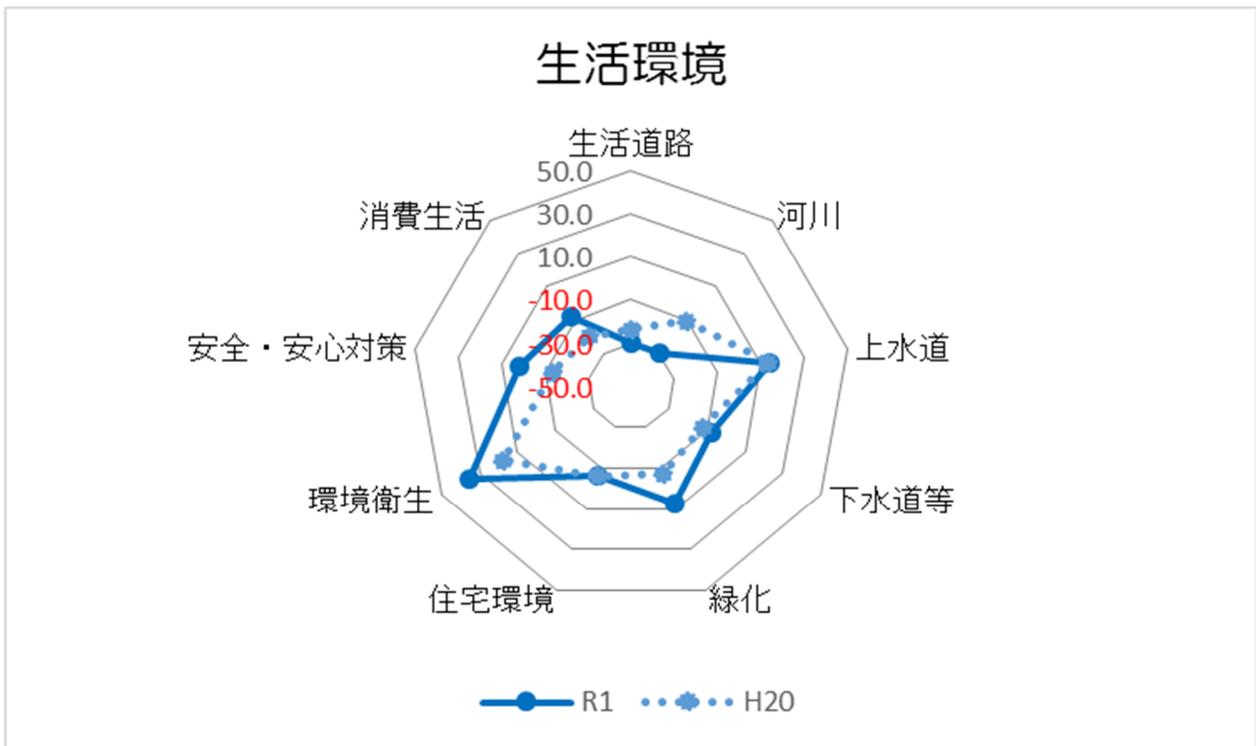
健康福祉

地域福祉、児童福祉などの分野に比べて、社会保障の満足度は非常に低くなっています。



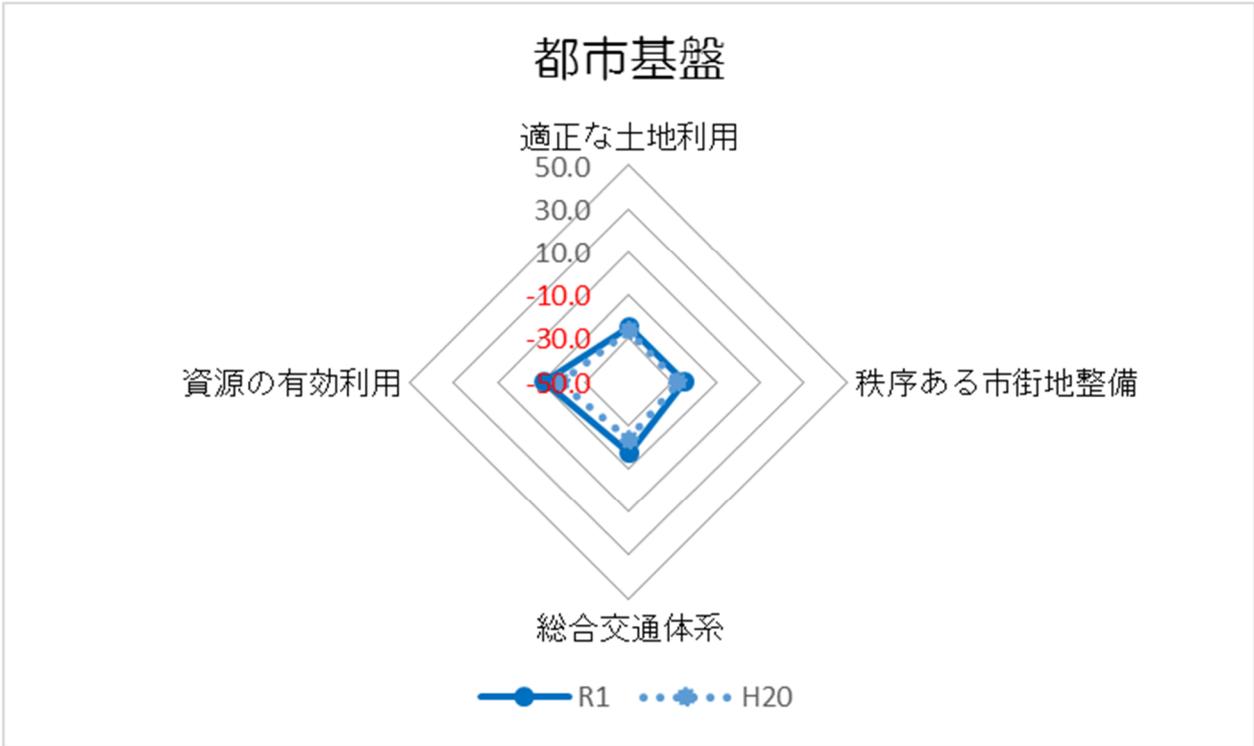
生活環境

環境衛生、上水道の数値が大きくプラスであるのに対し、生活道路、河川の数値は大きくマイナスとなっており、この分野の満足度が非常に低いことが分かります。



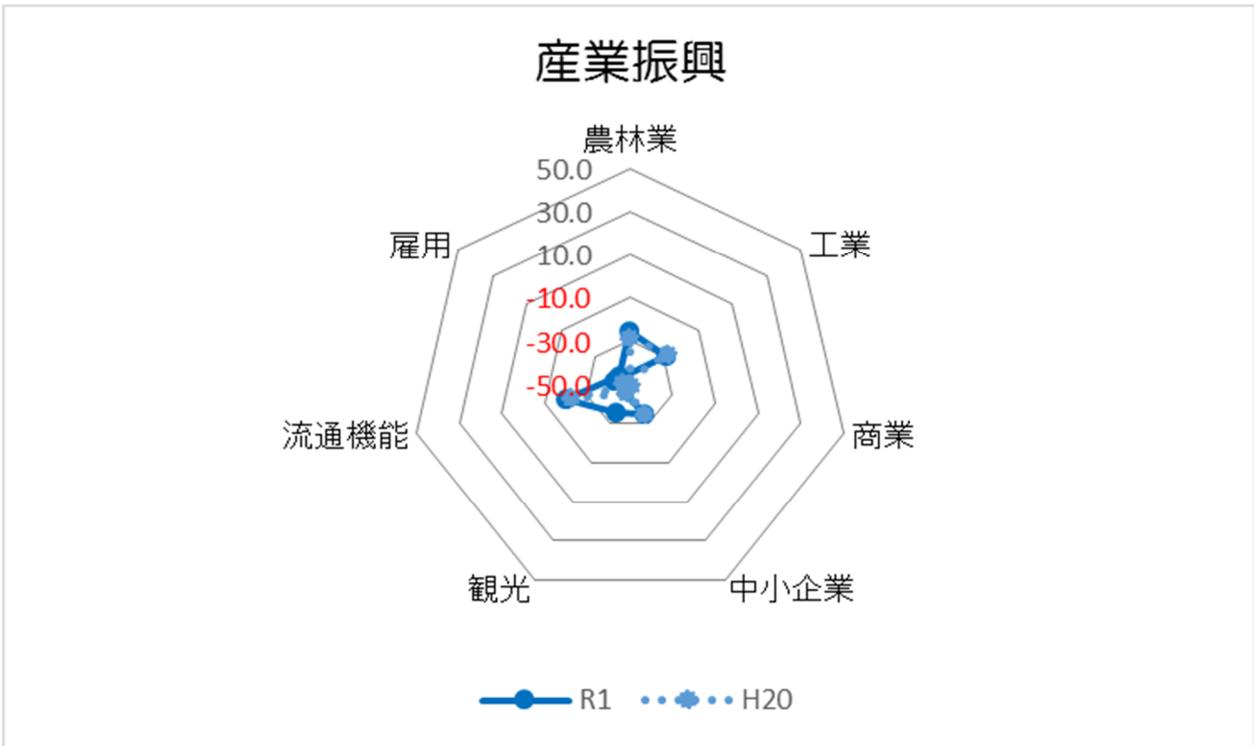
都市基盤

全体として数値はマイナスでグラフの面積も小さく、満足度は非常に低くなっています。秩序ある市街地整備、適正な土地利用については平成20年からあまり満足度が上がっていません。



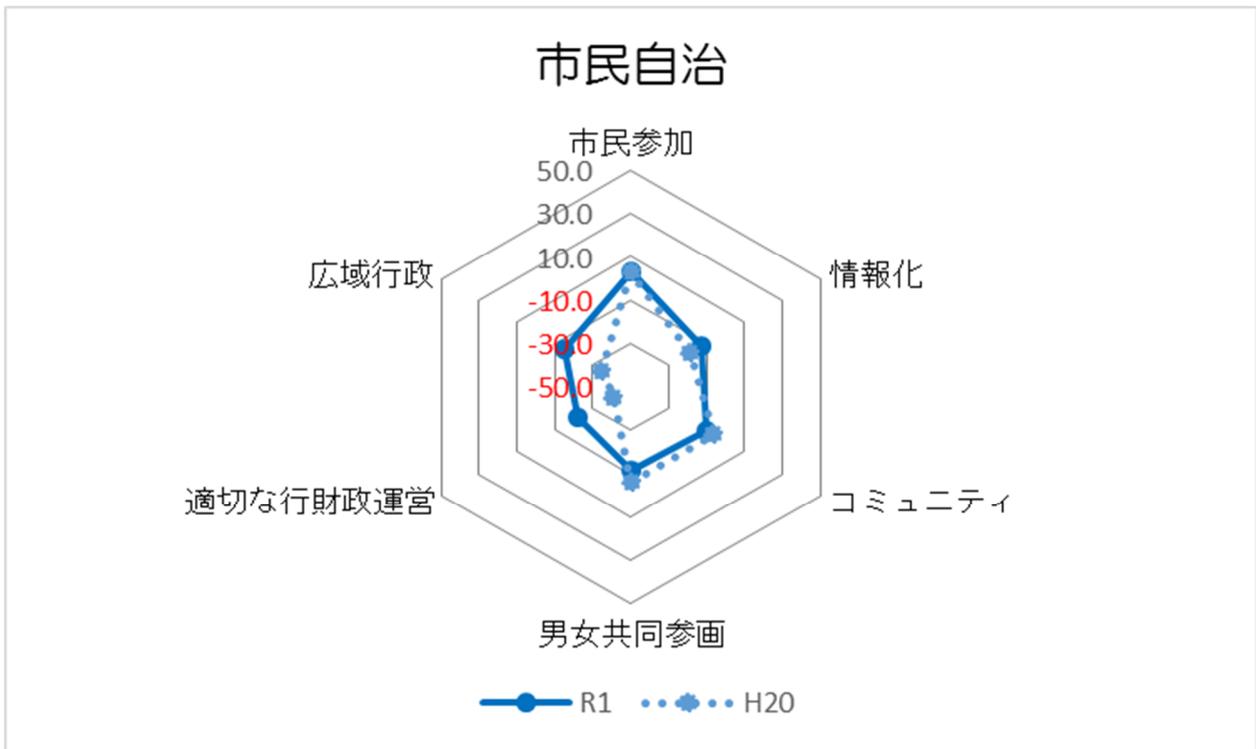
産業振興

全体として数値はマイナスでグラフの面積が小さく、中でも商業と雇用の満足度が低くなっています。



市民自治

市民参加の満足度は高いものの、適切な行財政運営の満足度が低くなっています。



4. 第1次～第6次3か年実施計画（H13～H30）の執行状況

		第1次	第2次	第3次	前期合計	前期対計画額	第4次	第5次	第6次	後期合計	後期対計画額	全期合計	全期対計画額
		H13～15	H16～18	H19～22	H13～H22		H23～25	H26～28	H29～30	H23～H30		H13～H30	
第1章	計画額	2,292,324	1,044,302	3,585,267	6,921,893	—	1,582,522	1,474,404	286,669	3,343,595	—	10,265,488	—
教育文化	決算額	2,049,490	1,097,482	2,487,424	5,634,396	81.4%	2,843,755	4,679,486	352,990	7,876,231	235.6%	13,510,627	131.6%
第2章	計画額	3,747,802	6,379,491	10,157,023	20,284,316	—	20,739,261	3,282,193	3,211,905	27,233,359	—	47,517,675	—
健康福祉	決算額	3,920,092	6,047,824	9,929,143	19,897,059	98.1%	18,345,631	3,420,140	2,271,899	24,037,670	88.3%	43,934,729	92.5%
第3章	計画額	5,565,919	3,147,116	1,363,084	10,076,119	—	1,404,903	2,093,683	2,478,076	5,976,662	—	16,052,781	—
生活環境	決算額	4,281,523	2,761,341	3,063,123	10,105,987	100.3%	2,246,918	2,231,187	2,206,398	6,684,503	111.8%	16,790,490	104.6%
第4章	計画額	3,502,906	615,282	775,677	4,893,865	—	1,016,528	1,885,569	1,115,553	4,017,650	—	8,911,515	—
都市基盤	決算額	2,028,825	783,481	724,862	3,537,168	72.3%	917,322	1,927,681	1,102,192	3,947,195	98.2%	7,484,363	84.0%
第5章	計画額	3,908,109	2,908,199	4,233,740	11,050,048	—	1,465,898	4,591,495	2,447,614	8,505,007	—	19,555,055	—
産業振興	決算額	3,609,764	2,547,988	4,298,192	10,455,944	94.6%	430,991	4,718,623	2,701,694	7,851,308	92.3%	18,307,252	93.6%
第6章	計画額	275,705	123,848	286,702	686,255	—	252,032	138,018	1,015,503	1,405,553	—	2,091,808	—
市民自治	決算額	225,556	105,615	255,401	586,572	85.5%	248,946	267,883	997,805	1,514,634	107.8%	2,101,206	100.4%
合計	計画額	19,292,765	14,218,238	20,401,493	53,912,496	—	26,461,144	13,465,362	10,555,320	50,481,826	—	104,394,322	—
	決算額	16,115,250	13,343,731	20,758,145	50,217,126	93.1%	25,033,563	17,245,000	9,632,978	51,911,541	102.8%	102,128,667	97.8%

単位：千円

5. 茂原市総合計画後期基本計画の施策評価結果

第1章 教育文化	項目数	割合
A評価（達成度8割以上）	26	57.8%
B評価（達成度4～7割）	16	35.6%
C評価（達成度3割以下）	3	6.7%

第2章 健康福祉	項目数	割合
A評価（達成度8割以上）	26	65.0%
B評価（達成度4～7割）	14	35.0%
C評価（達成度3割以下）	0	0.0%

第3章 生活環境	項目数	割合
A評価（達成度8割以上）	30	65.2%
B評価（達成度4～7割）	12.5	27.2%
C評価（達成度3割以下）	3.5	7.6%

第4章 都市基盤	項目数	割合
A評価（達成度8割以上）	7	35.0%
B評価（達成度4～7割）	8	40.0%
C評価（達成度3割以下）	5	25.0%

第5章 産業振興	項目数	割合
A評価（達成度8割以上）	19	45.2%
B評価（達成度4～7割）	15	35.7%
C評価（達成度3割以下）	8	19.0%

第6章 市民自治	項目数	割合
A評価（達成度8割以上）	22	81.5%
B評価（達成度4～7割）	4	14.8%
C評価（達成度3割以下）	1	3.7%

全体	項目数	割合
A評価（達成度8割以上）	130	59.1%
B評価（達成度4～7割）	69.5	31.6%
C評価（達成度3割以下）	20.5	9.3%
合計	220	100.0%

※第3章のB評価、C評価の項目0.5は、1つの項目について2課で評価した結果が異なったため按分している。